

Sarabetsu

広報さらべつ 12月号
Public Relations Sarabetsu 2015 vol. 639

焼きイモ甘くて
ほっぺが落ちるよ～♪



特集：除雪についてお知らせします

快適な冬の暮らしを 目指して

く村の除雪についてお知らせしますく

寒さが日ごとに厳しくなり、本格的な降雪シーズンが到来しました。

村では冬の生活道路を確保し、みなさんの生活を支えるため除雪体制を整えています。しかし、迅速で効率的な除雪作業を行うためには、地域にお住まいのみなさんのご協力が欠かせません。

一人ひとりがマナーを守り、冬の暮らしを快適に過ごせるようにしましょう。

今月号では、除雪路線や出勤内容などについてお知らせします。除雪作業へのみなさんのご理解とご協力をお願いします。

除雪の注意点

①除雪車に

近づかない

作業中の除雪車は何度も前進や後退を繰り返すことがあるため、車両の前後を横切ったり、通り過ぎた直後に道路を渡らないでください。自動車の運転中に対向車線から除雪車が近づいたときは、通り過ぎるまで車を停止してください。

②雪を路上に

出さない

市街地の除雪では、歩道を小型ロータリー車で、車道を除雪トラックがグレーダーで雪を道路の片側に寄せ、ロータリー車などで排雪します。

除雪車が通る前に自宅敷地内の雪を道路に投雪すると、車両通行の支障やハンドルのとられ交通事故の原因となる可能性があります。

③駐車場には隅から

順に停める

降雪が見込まれているときに公共施設の駐車場へ車を停める場合は、隅から順に停めてください。車が分散して駐車していると、その間を縫うように除雪を行うため作業の効率が悪くなります。

④歩道に雪を

積まない

ロータリー車での除雪が困難になり、作業に遅れが出る場合があります。

⑤路上駐車をしない

除雪車が路上の駐車車両に接触しないよう慎重に通過するため、作業全体が遅れるばかりか、きれいに除雪ができず多くの方に迷惑がかかります。

除雪の基準

①作業開始は

安全確保を優先

除雪車の出勤は10センチ相当の積雪を目安としています。しかし事故防止のため、日中は積雪量が10センチに達しても、降雪状態を見ながらすぐに作業を開始せず、翌日の午前3時30分頃から通学・通勤の時間に間に合うように行います。

②大雪の場合は直ちに

1次路線を除雪

乗用車が走れなくなるほどの大雪の場合は、日中であっても直ちに1次路線の除雪を開始します。ただし、2次路線・3次路線は翌日の通常作業開始時間から実施します。

吹雪などで視界が悪くなった場合は、除雪車の事故防止のため天候が回復するまで作業を遅らせることがあります。

③除雪は市街地の

優先道路から

最初は、更別市街と上更別市街の1次路線から除雪トラックで作業を始めます。

農村部は1次、2次、3次路線の順に除雪を始め、並行して市街地の仕上げ作業を行います(路線区分は3ページ・4ページをご覧ください)。

乗用車が通行できる積雪量なら、路線順に関係なく効率的な順に作業を行います。

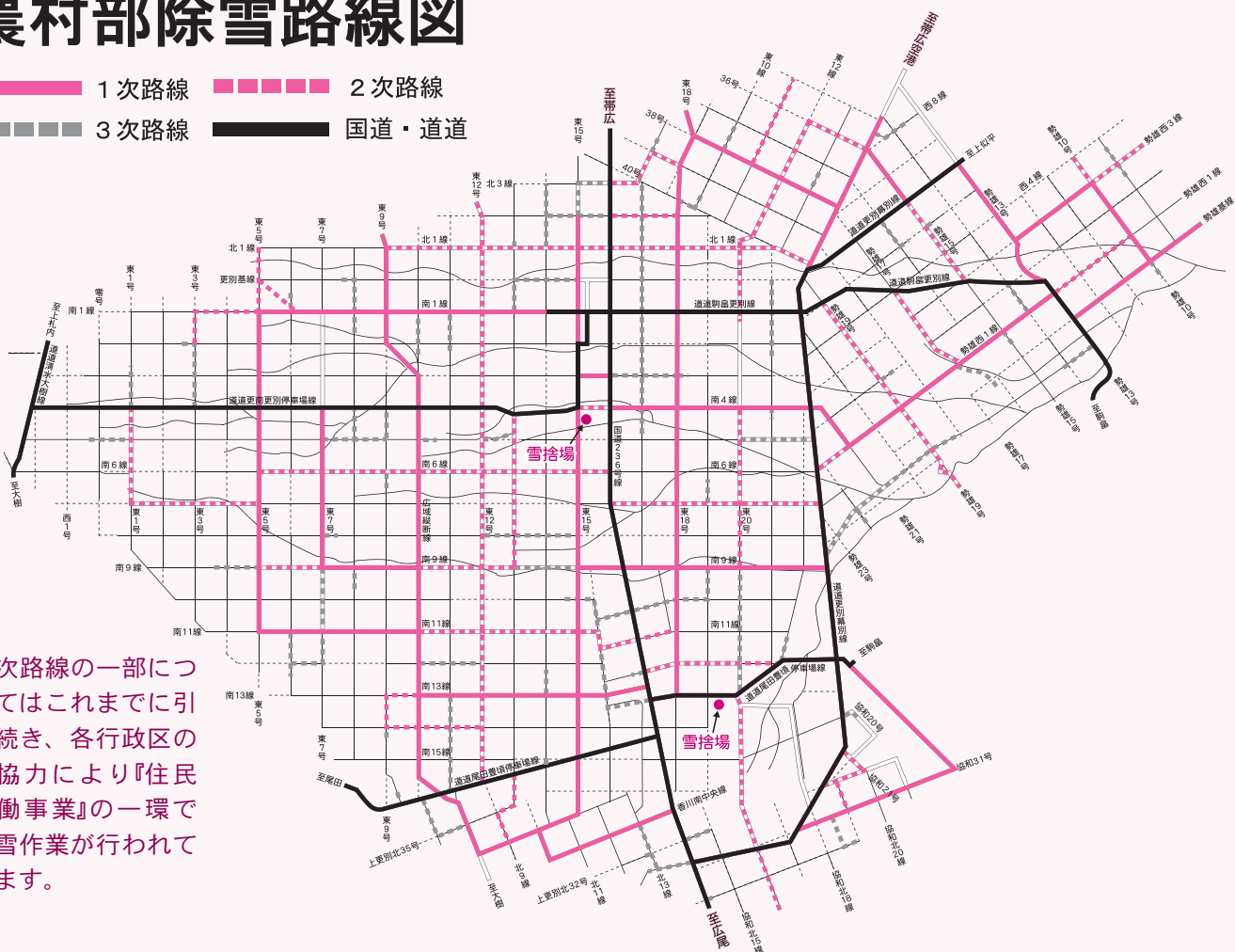
④雪捨て場は村内2か所

住宅敷地内の雪の排雪場所は、更別・上更別地域にそれぞれ1か所ずつあります。

更別地域は東15号沿いの南4線から5線間、上更別地域は上更別墓地北側です(3ページの路線図でご確認ください)。

農村部除雪路線図

1次路線 2次路線
3次路線 国道・道道



※3次路線の一部についてはこれまでに引き続き、各行政区のご協力により『住民協働事業』の一環で除雪作業が行われています。

村内 ステージめぐり

11月に入り村内の幼稚園、小学校ではそれぞれ発表会が行われ、子どもたちが毎日のように練習してきた成果を披露しました。会場に集まった保護者や地域のみなさんからは、たくさんの温かい拍手が送られていました。



11/8 更別小学校
学習発表会

11/15 更別幼稚園
保育発表会

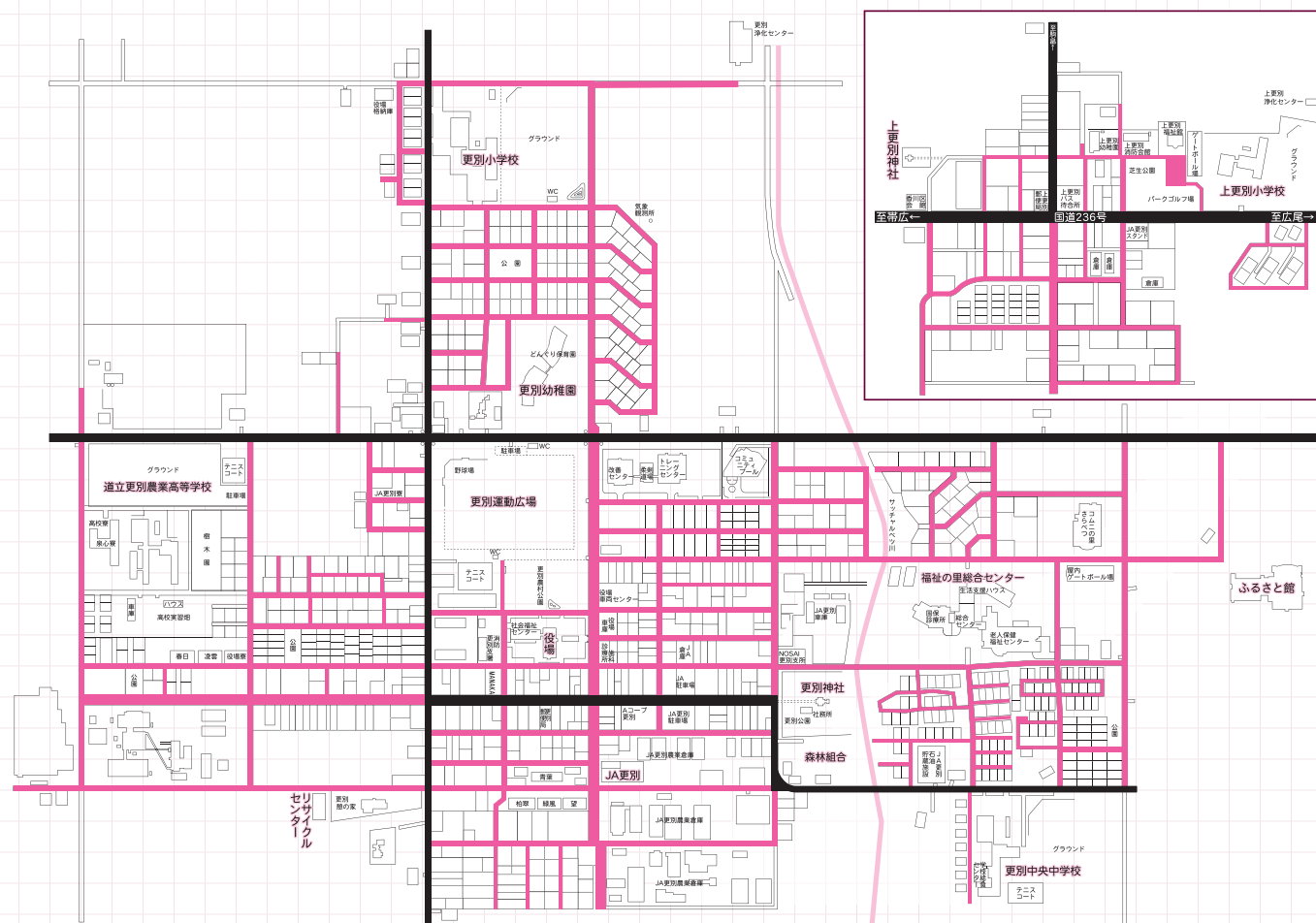


11/21 上更別小学校・上更別幼稚園
合同学習発表会



市街地除雪路線図

1次路線 国道・道道



除雪に関するお願い

①積雪状況によっては作業に遅れが出ます
「積雪量が多い」、「雪が湿っている」などの原因で作業に遅れが出る場合や、1車線分しか除雪できないことがあります。

③歩道側に一度雪を集めます
除雪をする際、雪を歩道側に集めてから排雪します。住宅の出入り口に面している方はご理解ください。

②除雪後の支障個所を
ご一報ください
除雪車が通った後、吹雪などによる吹き溜まりなど、交通に支障がある個所を見つけた際には役場へ連絡願います。

④除雪に関するご意見を
お待ちしています
除雪に関するご質問・ご意見は役場まで連絡願います。

●問い合わせ
役場建設水道課道路維持車両係
☎ 52・5200



もつとつながる

東松島市との絆

学校給食に

東松島市のお米とのりが登場

市内の幼稚園と小中学校で11月11日、東松島市特産のお米と味のりが給食として提供されました。

子どもたちが、友好姉妹都市についての理解を深めると同時に、震災復興の一助となればとふるさと給食の一環として実施。
お米は13日、16日も提供され、あわせて3日間
にわたって東松島市を感じる給食となりました。



今回提供のお米は「ほたる米」とめばれ」という品種で、東松島市の根古地区で生産された新米。この地

区のお米は源氏ボタルが生息する清らかな水が使われ、減農薬で生産されるため安心で安全。また、11日に提供されたのりは、皇室献上品にも選ばれる大曲浜産を提供。今年、子どもも交流で東松島市を訪れた経験のある更別小学校6年生橋井花音さんと矢野美桜さんは「お米はつやがあ

ちしていました。のりも味が濃くておいしかったです。東松島市の楽しい思い出がよみがえってきます」話してくれました。



友好姉妹都市人材交流事業

観光物産交流団が東松島市へ

平成10年から続く友好姉妹都市交流事業の人材相互交流が行われ、交流団長を務めた江本信吉さん以下観光協会の会員や事務局あわせて6名が、11月17日から19日まで3日間東松島市を訪れました。

今回の人材交流のテーマは「観光・物産」。本来であれば平成23年に派遣による人材交流を行う予定でしたが、東日本大震災の影響によりこれまで派遣を見送っていました。しかし、昨年行われた両市村の会議で再開を決定。5年越しの交流再開となりました。

東松島市では、阿部秀保市長との懇談や各種観光・物産施設の見学、同市の観光物産協会のみなさんとの意見交換会などを実施。施設見学では、6次産業化事業を展開する加工品製造施設や東松島市のアンテナショップを視察。また、意見交換会では、はじめに事例発表で震災以降の東松島市の観光の現状などが報告され、復興が進んでいるときだからこそ交流人口の拡大を目指しているものの、生活再建が優先となり、なかなか思うようには進んでいない現状が報告されました。その後に行われた意見交換では、

お互いの特産品がより光ることができるよう連携を進めること、この交流がさまざまな面での連携へとつながる第1歩にしたいことなどが確認されました。

交流を終えた江本団長は「この交流で両市村の信頼と友情がさらに深まり、今後の観光事業や物産販売のさらなる広がりとなっていくように、絆をこれまで以上に強くしていきたい。また、東松島市にとつて実になる支援が必要だと感じたので、物産販売協力による支援など、更別村の私たちができることを継続していきたい」と話していました。



この交流事業は、来年度以降も違うテーマでの人材相互交流を行うことが決まっており、ますます友好姉妹都市の絆が深まっていくことが期待されます。

村長室 だより

NO.7

～子どもからお年寄りまで
笑顔と笑い声にあふれ、
一人ひとりが輝く村～



letter from Takeshi

東松島市へ行ってきました

市制10周年記念式典に参加

復興へ着々と歩みを進める東松島市

11月6日、友好姉妹都市である宮城県東松島市の市制施行10周年記念式典に出席してきました。平成17年に矢本町と鳴瀬町が合併し、新たに東松島市が誕生。平成9年に旧矢本町と友好姉妹都市の盟約を交わしていた村は、引き続き東松島市と姉妹都市提携を結び、今日に至るまで二十数年間にわたる「海と大地・子ども交流」を核とした教育・文化・スポーツ・産業・観光などの幅広い分野で交流と絆を深めてきました。

市制施行から6年目の平成23年3月11日に震度6強、マグニチュード9.0の東日本大震災が発生。死者1110人、家屋被害1万1073棟(全世帯の73%)という未曾有の甚大な被害に見舞われました。現在も24名の方々が行方不明となっております。

○大震災から4年9か月

めざましい復興へ歩みと力強い槌音！私が2年前に子ども交流団の団長として東松島市を訪れた時と比べ、街の様子が大きく変化していました。それは、大震災の津波による被害が甚大だった7つの市街地・集落の防災集団移転促進事業の推進や、9地区にわたる



松橋議長と共に阿部市長と「絆を確認してバシヤリ。」

災害公営住宅整備事業などの大規模な団地の造成や公営住宅の建設、生活環境の改善に向けたインフラの整備が着々と進められていたことです。

特に壊滅的な被害を受けた野蒜地区の復興は、街そのものを北部に移転することもあり、以前は連なっていた山々が見事に削られ、整然と区画整理がなされた広大な市街予定地が誕生していました。JR野蒜駅も完成し、5月から全線開通となったJR仙石線を走る真新しい電車の雄姿も見ることができました。

○「あの日を忘れず、共に未来へ！」
絆を深く互いに手をたずさえて震災犠牲者への黙祷と四部構成の「野蒜小学校復興太鼓」の演奏で幕を開けた東松島市市制施行10周年記念式典で阿部市長は、「いまだ復興半ばではありますが、あの日を忘れず市民のみなさんと心をひとつにして、震災を乗り越え、ともに未来へ向って歩んでいきましょう」と話されました。太鼓を叩く子どもたちの真剣な眼差しと、阿部市長の凛とした姿の中に復興に寄せる市民のみなさんの熱い想いや願いが強く伝わってきました。

望む田畑や海原は、今では何事も無かったかのように静まり返っていました。筆舌に絶する惨禍と爪痕をこの豊かな大地と人々の心に残したことを考えると、本当に胸が張り裂ける思いがしました。
私たちも決してあの日を忘れず、東松島市のみなさんと共に手を携えて互いに未来に向けた歩みを続けていかなければなりません。遠く離れていても、心はしっかりと繋がっている。これからも、そんな姉妹都市でありたいものです。

公共施設などの

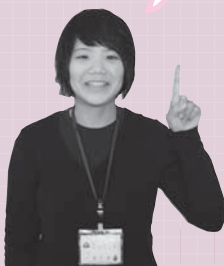
年末・年始業務状況

役場の休業日でも、戸籍窓口の受付業務はできますので、役場へご連絡ください。ただし住民票の発行などの業務はできません。

	12 月				1 月					
	28(月)	29(火)	30(水)	31(木)	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)
役 場	○	○	○							○
改 善 セ ン タ ー	○	○	○					○	○	○
柔 剣 道 場	○		○					○		○
トレーニングセンター	○	○	○					○	○	○
改善センター図書室	○									○
福祉の里健康増進室		○	○					○	○	○
福祉の里温泉		○	○					○	○	○
国 保 診 療 所	○	○	午後休							○
歯 科 診 療 所	○	午後休								○
ふ る さ と 館	○	○	○							○
リサイクルセンター	—	○	—					—	○	—
ごみ収集	市街地区	—						—	可燃	不燃
	農家地区	—						—	可燃	不燃
し尿汲み取り(水曜日)	—	—						—	—	○

⇒ 休み

役場住民生活課
戸籍窓口係
中條 百絵主事



交通量調査を実施



忠類大樹 IC 開通後の車の流れに変化は？

村では、高規格道路帯広・広尾自動車道の「忠類大樹インターチェンジ(以下：IC)」延伸による村内での交通量などの変化を確認するため、交通量調査を更別市街5か所、上更別市街1か所で5月から9月の6回にわたって調査しました。

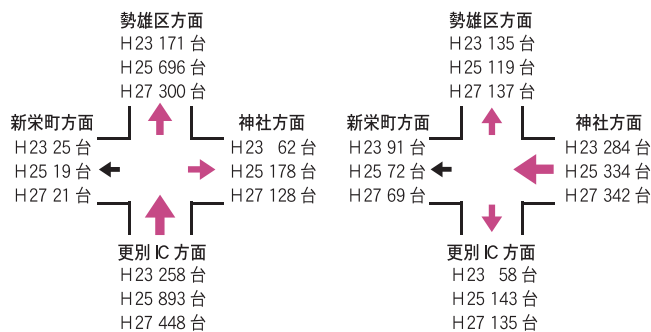
調査結果についての一例

①更別市街の交通量が増加

更別IC方面から右折によって市街本通り商店街へ向かう車両は、平成25年の調査よりは減少しているものの平成23年の調査と比べると増加しています。

また、神社方面から市街本通り商店街を通行し南1線へ向かう車両が増加しています。

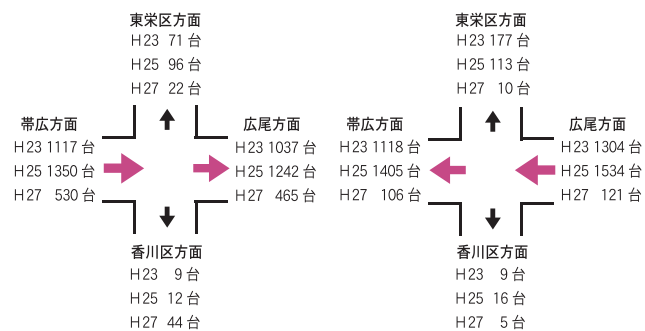
南1線・本通り交差点



②上更別市街の交通量が減少

国道236号線の交通量が減少しています。これはこれまで国道を走行していた車両が高規格道路を利用しているものと考えられます。

国道236号・道道尾田豊頃線交差点



詳細な通行車両台数などの数値について、今回の調査はもちろん、更別IC開通前の平成23年調査、更別IC開通後の平成25年調査についても必要な方へ提供できますので、お問い合わせください。

●問い合わせ

役場企画政策課政策調整係

☎52-2114

交通安全

スポーツ

奨励賞



河瀬 香織さん

Kawase Kaori

第26回北海道障害者卓球競技大会 女子知的18区分において2位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ

奨励賞



青木 真理さん

Aoki Masamichi

多年にわたり更別バレーボール少年団の指導者として卓越した指導力を発揮し、多くの優秀な団員を育成するなど、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ

奨励賞



森 公彰さん

Mori Kimiaki

多年にわたり上更別スポーツ少年団の指導者として卓越した指導力を発揮し、多くの優秀な団員を育成するなど、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ

奨励賞



松野 亜希さん

Matsuno Aki

多年にわたり上更別スポーツ少年団の指導者として卓越した指導力を発揮し、多くの優秀な団員を育成するなど、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

文化賞

書道



石野 泰佑さん

Ishino Taisuke

第59回全道学校書道展において北海道書道教育連盟賞を受賞するなど輝かしい成績を収め、更別村の文化振興に貢献した功績。

スポーツ

奨励賞



藤澤 優希さん

Fujisawa Yuki

第68回十勝高等学校陸上選手権大会 女子100メートルにおいて1位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ賞等表彰式

更別村文化賞

平成27年度

文化賞1名、スポーツ奨励賞6名

計7名が受賞



スポーツ

奨励賞



山内 美来さん

Yamauchi Miku

第68回十勝高等学校陸上選手権大会 女子走幅跳において2位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

『こころ』と『からだ』の健康を守る睡眠について

今月の保健だよりは厚生労働省から出された「健康づくりのための睡眠指針2014～睡眠12か条～」をご紹介します。軽視されがちな睡眠ですが、睡眠は心身の疲れを回復し、健康を保つ上で欠かせないものです。心と身体の健康を守るため、快適でいきいきとした毎日を過ごすため、ご自身の睡眠について振り返ってみてください。

リズムを整え、質のよい睡眠を！

睡眠のリズムは体内時計のリズムに左右されます。体内時計は太陽の光を浴びることでリセットされ、15～16時間後に自然と眠気が出てきます。

毎朝同じ時刻に起きて太陽の光(明るい室内の光)を浴びること、食事を3食同じ時間に摂るなど規則正しい生活することで、睡眠のリズムが整います。昼間から夕方に体を動かし、体を疲れさせること、昼と夜のメリハリをつけることも大切です。

お昼寝は午後3時までに、15分から30分以内の短時間が良いです。



良い睡眠をとるためのコツ

眠くなる時間は体内時計によってほぼ決まっています。無理に寝ようとせず、眠くなってから布団に入るとスムーズに入眠できます。自分にあった睡眠前のリラックス法(ぬるめのお風呂にゆったりつかる、読書、音楽、軽いストレッチ、アロマなど)を見つけておくのもお勧めです。

睡眠に適した環境づくりも大切です。静かで適度な温度、明るすぎない照明など工夫してみましょう。白っぽい明るすぎる照明やテレビ、パソコン、携帯電話・スマートフォン、テレビゲームなどの光は、目を覚ましてしまうので、夜間は控えるのが良いです。

コーヒー、紅茶、緑茶などカフェインを含んだ飲み物は、夕方(就寝の4時間から5時間前)から控える、就寝1時間前からタバコを控えるのも良い睡眠に効果的です。寝酒は、寝つきがよくなっても中途覚醒が増えるため、熟睡できません。

睡眠と病気の関係

睡眠不足や不眠は、脳の働きが鈍り、判断力の低下や気分を不安定にさせるなど日常生活に悪影響を及ぼすほか、高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の発症、うつ病などのメンタルヘルスへの影響も関係しています。激しいいびきなど、いつもと違った睡眠には、睡眠時無呼吸症候群などの病気が隠れている可能性もあります。「休日も含めて2週間以上毎日眠れない」、「食欲低下や急激な体重減少、体が疲れて気力がわからない」といった状態の時には受診が必要です。ご自身はもちろん、家族や周りの方でそういった方がいた場合には、医師や保健師などへの相談をお勧めしてください。

健康づくりのための睡眠指針2014 ～睡眠12か条～

1. 良い睡眠で、「こころ」も「からだ」も健康に。
2. 適度な運動、しっかり朝食、眠りと目覚めのメリハリを。
3. 良い睡眠は、生活習慣病予防につながります。
4. 睡眠による休養感は、こころの健康に重要です。
5. 年齢や季節に応じて、昼間の眠気で困らない程度の睡眠を。
6. 良い睡眠のためには、環境づくりも重要です。
7. 若年世代は夜更かし避けて、体内時計のリズムを保つ。
8. 勤労世代の疲労回復・能率アップに、毎日十分な睡眠を。
9. 熟年世代は朝晩メリハリ、昼間に適度な運動で良い睡眠。
10. 眠くなってから寝床に入り、起きる時刻は遅らせない。
11. いつもと違う睡眠には、要注意。
12. 眠れない、その苦しみを抱えずに、専門家に相談を。

●問い合わせ
役場保健福祉課
保健推進係 ☎53-3000

更別 街なか交流館 ma・na・ca 人が集う“憩い”と“交流”の場が完成



市街地活性化の新たな拠点となる「更別 街なか交流館 ma・na・ca」の落成式と落成披露パーティが、来賓の方や地域住民の方が見守る中、11月8日に行われました。

落成式では、商工会の高木会長や西山村長、来賓の方、どんぐり保育園の園児2名がテープカット。また、訪れたみなさんに向けた餅まきも行われ、あいにくの天候でしたが、子どもからお年寄りまで多くの方が集い、ma・na・caの落成を祝いました。

ma・na・caには、商工会とNPO法人どんぐり村サラリの「ふれ愛センター」、十勝バスの待合所と定期券売場などの施設が入り、文字通り「街なか」での「交流」ができる場所として完成しました。

また、村が街なかでの駐車場を増やし、商店街利用者の利便性向上を目的に公共駐車場12台分を伴った街なかポケットパークもあわせて整備したため、住民の憩いやイベント広場としても使用することができます。



←帯広信用金庫のATMが設置され、利用者の利便性は向上。→十勝バスの定期券売り場も前商工会館に引き続き併設。



商工会長
高木修一さん

幼い子どもからお年寄りまで幅広い世代の方が気軽に立ち寄ることができる施設にしていきたいです。

また、サークルの発表会やミニコンサートの開催など、みなさんの自由な発想で活用してください。



ma・na・カフェ

営業時間
11:00～16:00 (平日のみ)

ホールには「ma・naカフェ」も併設され、めぶきの会のみなさんが運営しています。

メニューには焙煎したての豆から入れたこだわりのコーヒーや子どもにも安心なジュース、お菓子のニシヤマのガトーショコラとのケーキセットなど充実の内容。また、飲み物の価格も100円からと格安で提供。代表の遠藤さんは「なにかのついでや井戸端会議などで使ってもらい、たくさんの方が集まってくるような空間にしていきたいです。テイクアウトもできるので気軽に利用してほしいです」と、話してくれました。



館内には会議室も併設されており、一般の方の利用も可能。利用を希望される方は、事前に商工会へ申し込みください。(使用料が必要です)

●問い合わせ
更別村商工会
☎52-2010



女性部長の塩田弘子さんは「作り方に興味があるという声を聞いていたので、良い機会をいただけて感謝しています。今日をきっかけにレシピが広がり、地域全体で商品も高校にもより親しみが湧いてきそうです」と話していました。

11/18

大手亡豆ジャム 製造講習会を開催

更別農業高校の加工分会Aが今年開発した大手亡豆を使ったジャムの製造講習会をふるさと館で開催し、JAさらべつ女性部の役員11名が参加しました。

講習会は高校生の活動を知ってもらうのと同時に、新商品が地域でより愛されること、また、生産者の方とのつながりを持つことを目的に開催。高校生が先生役になり、女性部のみなさんに製造工程を伝え、大手亡豆のジャムを作り上げました。

今回で3回目となる「さらべつ音楽祭」が社会福祉センターで開催され、およそ250名の観客が訪れました。

音楽祭は村の文化振興等助成事業を活用し実施され、今年は徳永英明のモノマネが有名な英明さんと原辰則や武藤敬二のモノマネでおなじみの神奈月さんが登場。神奈月さんはステージに観客を上げてパフォーマンスをするなど大盛り上がり。来場した大勢の観客は、ひとネタひとネタに笑いと拍手を送っていました。

この日を楽しみにしていたという男の子は「テレビで見ていたという男の子が間近で見れて嬉しかったと話していました。」

11/22 さらべつ音楽祭を開催



11/19 北海道150年に向け意見交換



アイデアをもらえた。みんなの思いをしっかりと伝えていきたい」と話していました。

十勝総合振興局が更別農業高校で「北海道」命名150年事業に向けての意見交換を行いました。

3年後の平成30年は、蝦夷地が「北海道」と命名されてから150年の節目に当たることから、北海道は先人から受け継いだ財産を次世代につなげていく事業を検討しているため、次世代を担う高校生との意見交換の場を設定。高校生からは「小中学生が農業や漁業に触れ、命を育てる体験」や「アイヌ文化に興味を持ってもらうイベントの開催」、「環境を保護するための植樹活動」などの意見が出されました。

地域政策課の山田恭一課長は「更別の高校生らしく自然に着目したア



今年で52回目となる村総合文化祭芸術発表会実行委員会主催が社会福祉センターで開催され、村内のサークルで活動するみなさんや村の子どもたちなど、およそ190人が歌や踊りなどを披露しました。

開会式では村瀬泰伸実行委員長がこのステージは、日ごろから学校やサークルで活動をしている成果を発揮する場です。みなさん最後まで楽しんでいてください」と挨拶を述べ、中学生のリコーダー演奏で開幕。

出演者のみなさんは綺麗な衣装で身を包み、練習を重ねてきた成果を存分に発揮し、演目が終わるたびに会場からは大きな拍手が送られていました。

11/26

日ごろの練習の 成果を披露



10/31
~
11/3

芸術の秋 力作を展示

農業者トレーニングセンターで村文化協会主催の『第52回更別村総合文化祭作品展示会』が開催され、554名の方が出展した1073点の作品が展示されました。

会場には、村内の園児・児童、各種サークル、愛好家のみなさんが制作した作品がずらり。作品を鑑賞しようとした方は、気持ちのこもった多くの作品に足を止め見入っていました。

また、会場入り口には村茶道サークルのみなさんの行うお茶会も開催され、来場者のみなさんに普段味わうことのできない「和」を提供していました。



ふるさと館で「創造集団大太太坊」による更別公演が行われ、昨年日本一に輝いた演奏を一目観ようと390名の方が来場しました。

公演は二部構成で、全11の演目を約1時間半かけて演奏。ステージでは太鼓を叩くだけでなく、光の演出や踊りなどを交えたパフォーマンス性の高いものが繰り広げられ、太鼓を初めて観る方にとっても楽しめる内容となっていました。特に観客の目を引いたのは大太鼓。初めて大太鼓を見た小学生は「あんなに大きな太鼓は初めて見た。叩いている人もとてもパワフルでかっこよかった」と興奮した様子で話してくれました。

11/2 メガソーラーが完成

十勝スピードウェイで進められていた大規模太陽光発電施設が完成し、竣工式を行いました。

この施設は駐車場用地だった40畝ほどの敷地におよそ8万7千枚のパネルを設置し、年間約24メガワットを発電。これは一般家庭6880世帯分の消費電力に相当します。

今回の事業は、村と十勝スピードウェイを所有するMSF株式会社、オリックス株式会社、OR更別・十勝メガソーラー株式会社の4者で締結していた「工事に関する役務や資材を可能な限り村内から調達すること」や、「各自協力し地域振興に努めること」などを確認した協定書に基づき行われました。

11/1 日本一の太鼓に酔いしれる



図書室利用増加のきっかけづくりや本に親しむを持ってもらうことを目的に、改善センター駐車場に移動図書車が訪れ、幼児から大人まで30名が多くの本に触れました。

この事業は、「楽天いどうとしよかん」として移動図書車が全国各地を巡っており、十勝では2か所目の開催。約1200冊を載せた移動図書車にはさまざまなジャンルの本が並べられ、来場者は興味のある本を手にとっていました。

参加した小学生は、興味のある乗り物の図鑑を見ながら「見たことのない車がある」と珍しそうに読んでいました。

11/14

図書移動車が 来村



お知らせ

北海道消費生活モニターを募集します

北海道では、道内の消費生活に関する意見・要望や生活必需品の供給と価格動向を把握し、消費生活の安定と向上を図るため、平成28年度消費生活モニターを募集しています。

※内容は変更になる場合があります。

- モニターの職務
 - ◆生活必需品の価格、出回り状況の月例調査
 - ◆商品・サービスへの調査や必要に応じたアンケート調査
- モニターの任期

平成28年4月1日
～平成29年3月31日
- 募集人員

1人
- 謝 礼

月額1,800円(予定)
- 申し込み期限

1月15日(金)
- 申し込み・問い合わせ

役場産業課商工労働観光係
(ふるさと館内) ☎52-2211

排水設備工事責任技術者資格登録更新のお知らせ

排水設備工事責任技術者資格の有効期間は5年間で、登録者は5年ごとに更新の手続きをする必要があります。

対象の方には、案内などを郵送しますので必ず更新の手続きをしてください。

- 対 象 者

平成23年度に北海道排水設備工事責任技術者試験に合格した方か、資格登録更新手続きを行った方、資格登録期間が平成28年3月31日で満了する登録者。
- 受付期間

平成28年1月8日(金)～1月15日(金)
- 手 数 料

6,000円
- 問い合わせ

役場建設水道課上下水道係 ☎52-5200

年末年始のごみの持ち込みについて

くりりんセンターの年末のごみの受け入れは12月31日(木)正午まで、年始は1月4日(月)から通常通り9時00分から17時00分までです。

年末年始は大変混雑することが予想されますので、計画的にごみ収集日にお出しすることをお勧めします。

- 問い合わせ

くりりんセンター ☎37-3550

帯広高等看護学院の教員を募集します

帯広高等看護学院では教員を1名募集します。

- 採用予定日

平成28年4月1日
- 受験資格

昭和51年4月2日以降に生まれた方で、次のいずれかに該当する方

①専任教員として必要な研修を修了した方(修了見込を含む)

②大学において教育に関する科目を4単位以上履修して卒業した方で、保健師・助産師または看護師として3年以上業務に従事した方

③保健師・助産師または看護師として5年以上業務に従事した方で、平成29年度以降に看護教員養成講習会を受講可能な方
- 募集期間

11月17日(火)～12月16日(水)
- 申し込み・問い合わせ

帯広高等看護学院 ☎47-8881

NISAの制度が変わります

NISA(ニーサ)とは、年間100万円を上限に新規に投資される上場株式や株式投資信託などから得られる収益が5年間非課税になる制度です。

平成28年1月より年間投資上限額が現在の100万円から120万円に引き上げ

られるほか、子どもの将来に向けた「ジュニアNISA」の申し込み受付が開始されます。

また、資産形成の必要性やNISAの内容について、日本証券業協会による出張講座のほか、金融庁においても講師派遣を行っています。

- 問い合わせ

帯広財務事務所 総務課 ☎25-6381

福祉職場説明会の開催について

福祉職場への就職を希望する方に就職活動に役立つセミナーと、採用予定のある福祉職場の人事担当者と話しができる無料の相談会を実施します。

また、就職活動に役立つ応援セミナーも開催しますので、福祉職場に興味のある方はご参加ください。

- 日 時

12月27日(日)

午前の部 11時00分から12時30分

午後の部 13時00分から15時30分
- 場 所

とかちプラザ ギャラリー・大集会室
- 内 容

午前の部：就活応援セミナー(事前申し込み必須)

午後の部：人事担当者との個別相談就職相談(事前申し込み不要)

- 対 象 者

福祉職場へ就職希望の方

福祉人材バンクに求職登録している方
- 申し込み・問い合わせ

帯広市社会福祉協議会 ☎27-2525

12月10日～12月16日は北朝鮮人権侵害問題啓発週間です

日本人拉致事件をはじめとする北朝鮮による人権侵害に国民の関心を高める目的で、毎年12月10日から12月16日までの1週間を『北朝鮮人権侵害問題啓発週間』と法律で定めています。

警察では、各種活動を通じた啓発活動を推進するなど、早期解決と抑止に向けた取り組みを行っています。

この啓発週間を通じて今一度関心を

高め、拉致問題解決へみなさんで取り組みましょう。

- 問い合わせ

帯広警察署 ☎25-0110

暴風雪などによる被害の防止について

近年、道内では、急速に発達した低気圧の影響により、吹雪の発生頻度が低かった地域にも暴風雪などによる災害が発生しています。天候の悪化が懸念されるときは外出を控えましょう。やむを得ず車で外出するときは、次のことを参考にしてください。

- ◆車両が立ち往生する可能性があるので、防寒具やスコップ、けん引ロープなどを車に用意し、燃料が十分にがあるかを確認しましょう。
- ◆運転中に地吹雪などで危険を感じたときは、道の駅やコンビニエンスストアなどで天候の回復を待ちましょう。
- ◆車が雪に埋まった場合はエンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流して、一酸化炭素中毒を起こす危険性があります。
- 問い合わせ

北海道危機対策局危機対策課 防災グループ ☎(011)231-4111

知っていますか道の「苦情審査員」制度

「北海道苦情審査委員」制度とは、道が行った業務や制度の内容を審査する制度です。

みなさんの利害に関することで、道政に対する苦情であれば「苦情審査委員」に申し立てができます。申し立てをすると、「苦情審査委員」が公正で中立的な立場から、道の関係機関に対して必要な調査を行います。審査の結果、道の業務に不備な点や制度に問題があるときは、是正や改善を求めます。

苦情申立の窓口は、道庁の「道政相談センター」か各総合振興局の「道政相談室」です。申し立てる場合は、「苦情申立書」に必要事項を記入し提出してく

ださい。

- 問い合わせ

総合政策部知事室道政相談センター ☎(011)204-5523(内線21-706)

ご存知ですか？無期転換ルール

無期転換ルールとは、平成25年4月1日以降に有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたとき、労働者の申し込みで期間の定めのない労働契約(無期労働契約)に転換できるルールです。

制度の詳細についてはお気軽にお問い合わせください。

- 問い合わせ

北海道労働局労働基準監督課 ☎(011)709-2311

節電のお願い

今年の冬も、国や北海道から節電に関する要請が行われています。家庭においても生活に支障をきたさない無理のない範囲での節電にご協力をお願いします。

●家庭では…
必要のない照明を消灯する、見ていないテレビはつけないなどのちょっとした行動で節電につながります。家計にもやさしくなりますので、節電にご協力ください。

- 節電をお願いしたい期間・時間帯

12月1日(火)から3月31日(木)

※12月29日・31日は除く

平日8時00分から21時00分まで

特に16時00分から21時00分の時間帯

●公共施設では…
照明の間引き減灯や昼休みの照明の消灯など節電対策に取り組みます。来庁者の方にはご不便をお掛けしますが、ご理解をお願いします。

- 問い合わせ

役場総務課庶務係 ☎52-2111

国民年金

国民年金保険料には免除制度があります

所得が少ないときや失業により国民年金保険料が払えないときは、保険料の免除制度をご利用ください。

また、免除・猶予された分の保険料を後から納めると将来受け取る年金を満額に近づけることができます。

なお、いずれも申請された月の2年1か月分前から免除などの申請ができます。

- 納付免除制度

納付が難しい方や失業した方などが対象で、4分の1免除から全額免除などを受けられます。本人や配偶者などの所得審査が必要で、免除期間は7月から翌年6月までです。

- 若年者納付猶予制度

30歳未満の方が対象で、保険料の支払いが猶予されます。本人や配偶者の所得審査が必要で、猶予期間は7月から翌年6月までです。

- 学生納付特例制度

学生の方が対象で、保険料の支払いが猶予されます。本人の所得審査が必要で、猶予期間は4月から翌年3月までです。申請時に学生証(コピー可)を持参してください。

※いずれの制度も所得の審査が必要になります。所得が少額、もしくはない場合でも役場へ所得の申請を行うようにしてください。また、手続きの際には印鑑が必要になります。

- 問い合わせ

帯広年金事務所 ☎25-8113

役場住民生活課戸籍窓口係 ☎52-2112

税

村・道民税第4期、国民健康保険税第6期納期限は12月21日(月)

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

- 問い合わせ

役場住民生活課住民税係

☎52-2112

見学旅行を終えて
生活科学科2年 大塚 江莉
11月3日から5日かけて、私たち2年生は関西方面(奈良・京都・大阪)の見学旅行に行っていました。
1日目は薬師寺へ行き、お坊さんの法話を聞きました。法話はおもしろく勉強にもなりまし
た。2日目は京都自主研修。計画通り進んでよかったです。3日目のUSJは人が多くて大変でしたが、アトラクションはとても楽しかったです。
全日程を通して、予想以上に
楽しめ、充実した見学旅行となりました。



農業クラブ全国大会に参加して
生活科学科3年 田原 珠奈
農業クラブ全国大会の農業鑑定競技に出場しました。今年度の開催地は群馬県。農業鑑定競技は前橋市の勢多農林高校で行われました。
全国大会に向けて放課後などを使い学習に励みましたが、大会本番は学校での学習会とは雰囲気まったく異なり、とても緊張しました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、自分なりに精一杯大会に臨むことができたので満足しています。
来年度は大阪大会です。後輩たちにはぜひ入賞を目指して頑張ってもらいたいです。



**北海道日本ハムファイターズ
記念Tシャツをプレゼント**
昨年の9月、村にもB・Bが交流しに来た北海道日本ハムファイターズの「212物語」。村民のみなさんの協力により今年の5月に札幌ドームで放映されました。その「212物語」がシーズン終盤に完成したことで、村へ記念Tシャツが配布されました。ご希望する方に先着順で

20着配布します。
●日時 12月24日(木) 9時00分から
●場所 役場企画政策課
●その他 先着順で世帯人数まで無料配布
●問い合わせ 役場企画政策課地域開発係
☎52・2114
色は青で
フリーサイズ

水道が凍ったときは 村の指定給水業者へ

これから厳しい冬がやってきます。長期にわたる外出のときは「水落とし」をしましょう。もし水道が凍結したときには、村の指定給水工事業者に連絡ください。
※解凍にかかる費用などは自己負担です。

更別村指定給水工事事業者

(株)更別企業 ☎52・3183 (花園町)
西田鉄工所 ☎52・2064 (中央町)
武藤電気店 ☎52・3307 (上更別区)
(株)ヤマジヨウ ☎52・2036 (本町)

※右記以外にも指定事業者があります。詳しくは役場に問い合わせください。

●問い合わせ

役場建設水道課上下水道係
☎52・5200

家屋などを異動したときは 役場へ届け出が必要です

固定資産税は、毎年1月1日現在の所有状況で課税されます。税額を決定するために、新築・増改築した家屋は家屋評価をして新たな税額を算定し、取り壊した家屋は課税台帳から家屋情報を抹消する必要があります。次にあてはまる方は手続きをお願いします。

■家屋を新築・増改築された場合

建築工事が終わり次第、住民生活課に備えている家屋異動届の提出が必要です。日程を確認して後日職員が家屋評価に伺います。法務局で登記をされた場合は家屋異動届の提出は必要ありません。

※事務の都合上登記をした翌月に家屋評価となります。家屋評価は実際に家屋の中へ入りますので、登記をする前に家屋評価を希望される方は住民生活課資産税係まで連絡をお願いします。

■家屋を取り壊した場合

家屋を取り壊した後、直ちに家屋異動届の提出が必要です。職員が現地を確認し、課税台帳から家屋情報を抹消します。法務局で登記の抹消手続きをされた方は、家屋異動届の提出は必要ありません。

●問い合わせ

役場住民生活課資産税係
☎52・2112

農村環境改善センター 図書室 今月のおすすめ本

東京オリンピックと新幹線

東京都江戸東京博物館／編



貴重資料をはじめ写真、新聞など約450点を収録。50年前の「熱い思い」を未来に伝えよう！

47都道府県 汁物百科

野崎 洋光・成瀬 宇平／著



地域的なバリエーションの豊富な汁物を、都道府県別に興味深く紹介するウンチク本。

家族で楽しむ 25の年中行事

辰巳 渚／著



お正月、節分、ひな祭り、お盆、大掃除どうしてやらなきゃいけないの?と、子どもに言われたら、読んでください。

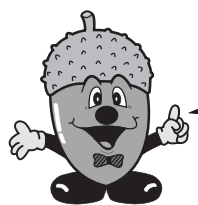
地域おこし協力隊メンバー



亀井 秀樹隊員 西島 志芳隊員 稗田 千穂隊員

今日のミッション

「さらべつさんうどん」の生麺は誰が作っているの?



ということで、今回の任務を遂行するのは西島隊員!



製造している現場写真を大公開!

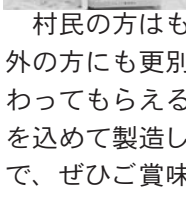
「さらべつさんうどん」の生麺は、平成24年12月5日の販売開始から3年が経過しましたが、村の特産品としての認知度はまだ低いと感じています。また、地域おこし協力隊が2名体制で製造業務の全てを行っていることも知られていないのが現状です。

製造は毎週水曜日に、午前と午後に分け1日が行います。

午前の作業は、ミキサーを使用して生地を作り、プレス機で形を円柱に整えます。このプレス機の作業は、麺のコシを出すための重要な作業の1つでもあるので、力強く行わなければなりません。その後、1時間ほど生地を熟成させたら午前の作業は終了です。



午後からの作業は、ロール機を使用して生地を薄く延ばし、裁断機で麺状にします。その後、1袋あたり280gに計量しパック詰めを行い、午後の作業も終了となります。



村民の方はもちろん、村外の方にも更別の小麦を味わってもらえるように、心を込めて製造していますので、ぜひご賞味ください!



戸籍の窓口

希望者のみ掲載

誕生おめでとう

高久 詩ちゃん
賢児・沙耶香(北更別区)
さいとう 藤心結ちゃん
齋敏和・麻也(本町)

お悔やみ申し上げます

水口 富美江さん 83歳
(北更別区)
本多 俊江さん 77歳
(上更別南区)

人のうごき

■人口
3,287人(+2人)【内外国人8人】
男1,629人(±0人)
女1,658人(+2人)
【内外国人5人】

■世帯数
1,302世帯(+1)
【内外国人3世帯】

※11月1日現在。()内は前月比。

地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録
883日(11月30日現在)

■地域安全運動のお知らせ
北海道で飲酒運転の根絶に関する施策を総合的に推進し、安全で安心して暮らすことができる社会の実現を目的に、「北海道飲酒運転に根絶に関する条例」が制定されました。

忘年会などでお酒を飲む機会が増えますが、飲酒運転は「しない、させない、許さない」社会の実現に向けてみなさんで取り組んでいきましょう。



六戸 晃士朗くん
平成26年12月19日生
曙町

わが家の三兄弟の末っ子、晃士朗です。お兄ちゃんたちが大好きでいつもにぎやかに遊んでいます。心の優しい子に育ってね。

雄一・志織



小林 奏介くん
平成26年12月18日生
曙町

お兄ちゃん大好き♡なわが家の次男、奏介です。食いしん坊でくれんぼが最近のお気に入り。これから兄弟仲良く元気に育ってね。

靖央・紗季子

ご厚意に感謝します

川上成子さん(更別区)から10万円の寄付金をいただきました。寄付金は『福祉の推進に関する事業』に使わせていただきます。

林絢子さん(錦町)から10万円の寄付金をいただきました。寄付金は『その他目的達成のため村長が認める事業』に使わせていただきます。

●最優秀選手賞
梶 裕太(旭区A)
●3位
南更別区
●2位
旭区B
●優勝
旭区A



11/22
年齢別混合
バレーボール大会(9人制)

Sports

広報さらべつ 12月号
Public Relations Sarabetsu 2015 vol.639

平成27年12月10日発行(vol.639)

更別村役場 住民生活課

〒089-1595

北海道河西郡更別村字更別

南1線93番地

☎0155(52)2111(代表) ☎0155(52)2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール(代表) village-office@sarabetsu.jp



11月6日、どんぐり保育園で焼きイモが行われ、遊ぼう会に来た親子と2歳児、3歳児の園児が焼きたてのサツマイモをほおばりました。
大きな口で焼きイモにかぶりついた園児は「焼きたては甘くてとってもおいしい!」と話していました。

表紙の風景